２０１６年度事業計画

　(平成２８年１月１日～平成２８年１２月３１日)

１．事業実施の方針

**子どもの心に寄り添い心を受けとめ生きる力を支援する電話としての充実と発展を図る。**

1. 受け手の資質の向上とモチベーションの維持を図るために定期的な研修を必修とする。
2. 次年度受け手を継続するには全研修の半分以上の出席を必要とする。
3. 支え手の意義と役割を確認し意識の共有を図るために支え手研修を必修とする。
4. 支え手会議(研修と情報交換)を年4回開催する。
5. 北関東エリアで協力体制をとり情報を共有し運営や研修に生かす。

**子どもの権利条約に保障された子どもたちを支える社会環境をつくるために地域社会に問題を提起する。**

①　チャイルドライン支援センターに協力し全国のチャイルドラインとともに全国的な規模で子どもたちの声を受けとめ社会に発信していく。

1. 広報誌や実施報告書を発行し広報普及に力を入れる。
2. 公開講座を開催し、広く一般の方に「子どもの現状」の理解を広める。

２．事業の実施に関する事項

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事　業　名 | 事　業　内　容 | 実　施 日　時 |
| 1. 子どものための電話実施事業 | 子どものための相談電話の実施 | 毎週月・金・第2日曜・第3土曜日　　16時～21時第2・第4金曜日(月2回）21時～23時まで延長 |
| 受け手(電話相談員)のための研修を開催 | 1. 「記録用紙の書き方」　　　　　　3月6日　18日
2. 「ネットトラブルとSNSの現状」　4月3日　8日
3. 「ロールプレイング」　　　　　　5月29日(2回)
4. 「現地研修・養護施設」　　　　　6月　(日曜)
5. 「逐語研修」　　　　　　　　　　7月　(平日)
6. 「プレインストーミング」　　　　8月26・28日
7. 「聴き方の基本」　　　　　　　　9月　(日曜)
8. 「子どもの現状」　　　　　　　　10月　(日曜)
9. 「ロールプレイング」　　　　　　11月3日
10. 「ロールプレイング」　　　　　　12月　(平日)
11. 「アクティブリスニング」　　　29年1月
 | 　 |
| 支え手会議(研修)の開催 | 1. 情報交換・研修

　1月・5月・8月・11月　の　日曜日 |
| 子どもたちに配布するカード・ポスターの作成と広報 | 年間約22万枚のカード(県内全域の小学校・中学校・高等学校)バスの窓上広告の実施　(20台) |
| 1. 啓発のためにイベント等に参加
 | 1. チャリティゴルフ　5/5 木
2. ﾌｪｽﾀMy宇都宮　 5/15　日
3. ふれあいフェス　未定
4. NPO見本市　未定
5. 子ども虐待防止ネットワーク会議に参加
6. 市青少年団体連「スポーツゴミひろい」11/23　水
 |

**＜　財　政　＞**

実施報告書や広報誌等の有効な活用を図り、県内企業や個人の賛助会員についても、計画性を持って積極的な働きかけを継続的に行っていきたいと考えます。

そして、「チャリティイベント」も昨年同様しっかり取り組みたいと思います。

**＜　研　修　＞**

　現在在籍の受け手、支え手がチャイルドラインとちぎの一員として、より不安なくシフトに入れ、より子どもの心に寄り添える様に、スキルアップに重点をおく一年とします。

「受け手」・・・研修カードで各自出席状況を確認しながら、全研修の1/2の出席を必修とします。曜日時間帯の片よりもあるので「一人から実施する補講」も開催します

「支え手」・・・年4回の支え手会議に合わせて、その時々の問題点についての研修を行います。

「公開講座」・・・「知ってほしい!セクシュアルマイノリティ」2/21(日)遠藤まめた氏の講演会を行います。

「現地研修」・・・6月に養徳園の現地研修を予定しています。

「研修部員による研修」・・・その時々の必要性に合わせ随時開催の予定です。

**＜　広　報　＞**

子どもたちへの発信として、例年どおりカード配布やポスターの掲示などによりチャイルドラインをより身近なものと感じてもらえるよう広報に努力したいと思います。

社会発信としての活動は、今年度もいろいろな交流会やイベントなどにも積極的に参加したいと思います。そしていじめ、虐待、発達障害等、生きづらさを感じている子どもが多いこの社会において、他の団体、NPOとも手を携え、子どもの現状の理解と支援にも目を向け、広報誌などを通じて社会発信していきたいと考えています。

広報誌20号では、特集に「性の多様性LGBTについて」掲載していく予定です。

内部交流を目的に発行している通信は、第73号～第78号の発行を予定しています。